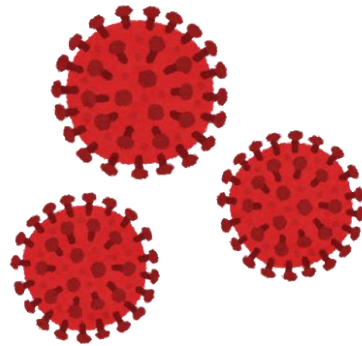


奈良市新型コロナウイルス対策の ガイドラインの見直し

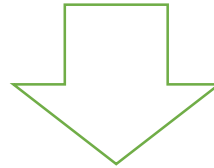


令和2年9月7日(月)
奈良市新型コロナウイルス
対策本部事務局

学校・園内での感染状況について

- ◆未就園児1例、学校関係者2例の感染を確認
- ◆いずれも感染経路は「家庭内感染」、学校外で「感染者との接触」「家庭内感染」による2次・3次感染
- ◆現時点で、奈良市内における学校内感染の事例はない

※国の調査でも児童生徒の感染経路は「家庭内感染」が半数以上で「学校内感染」は5%、教職員の感染経路でも「学校内感染」はなし



臨時休業の考え方

- ◆ 学校内で感染者が出た場合であっても、臨時休業は、濃厚接触者の範囲の特定や検査に必要な日数・範囲で実施
- ◆ 学校全体に感染拡大がみられない場合は臨時休業は基本不要
- ◆ 児童生徒の学びの機会を保障することが重要

「小学校、中学校及び高等学校等にかかる感染事例等を踏まえて今後求められる対策等について」
(令和2年8月6日付け2文科初第700号) 文部科学省初等中等教育局長通知

新型コロナウイルス対策のガイドライン（9月7日(月)修正）

	フェーズⅠ	フェーズⅡ	フェーズⅢ	フェーズⅣ
感染の状況	感染拡大リスクが概ね抑制されている状態	感染拡大初期	感染拡大期	感染まん延期
制限の狙い	感染拡大に配慮しつつ市民サービスを提供		感染拡大防止を最優先に一部市民サービスを抑制	命を守る徹底した感染拡大防止
市民啓発	・新しい生活様式の徹底	・感染流行地へ往来自粛		
		・基礎疾患のある方や、高齢者・妊婦の方へ不要不急の外出について注意喚起	・地域内の外出は最小限に	・地域内の外出も原則自粛
感染拡大防止対策など	「新しい生活様式の徹底」などによる感染防止と社会経済活動の両立		3密の徹底回避など徹底した感染防止対策の実施	市民の命を守るための緊急対策
市職員参集等の基準	BCPに基づき業務を遂行			
	職員は9割参集		職員は7割参集	職員は5割参集
	業務内容に応じた「柔軟な在宅勤務」時差出勤の推奨			7割の通常業務削減と2割のコロナ関連業務増
	妊娠している職員の在宅勤務			
市の主な業務	窓口業務	・各課窓口数の制限等感染拡大に配慮しながら、全ての窓口運営	・窓口は税・福祉及び市民課等の一部に限定（急ぎの用件は対応）	・窓口の原則閉鎖（急ぎの用件のみ対応）
		郵送やオンラインの手続き、予約制等は継続		
	イベント公共施設	・感染拡大に配慮しながら、開催・運営	・市主催のイベントは原則中止 ・市公共施設は原則閉館 ・図書館は予約貸出しのみ	・市主催のイベントは全面中止 ・市公共施設は全て閉館
学校・園 保育所等	原則、通常運営 関係者に感染者等が出た場合は当該学校園は臨時休業（対策に必要な日数・範囲）			小中学校、幼稚園及び1号認定こども園は臨時休業※ バンビーホーム、保育所等は特別保育

※市立一条高等学校は県立高校の基準による

新型コロナウイルス対策のガイドライン (7月8日(水)見直し)

	フェーズⅠ	フェーズⅡ	フェーズⅢ	フェーズⅣ
感染の状況	感染拡大リスクが概ね抑制されている状態	感染拡大初期	感染拡大期	感染まん延期
制限の狙い	感染拡大に配慮しつつ市民サービスを提供		感染拡大防止を最優先に一部市民サービスを抑制	命を守る徹底した感染拡大防止
市民啓発	・新しい生活様式の徹底	・感染流行地へ往来自粛		
		・基礎疾患のある方や、高齢者・妊婦の方へ不要不急の外出について注意喚起	・地域内の外出は最小限に	・地域内の外出も原則自粛
感染拡大防止対策など	「新しい生活様式の徹底」などによる感染防止と社会経済活動の両立		3密の徹底回避など徹底した感染防止対策の実施	市民の命を守るための緊急対策
市職員参集等の基準	BCPに基づき業務を遂行			
	職員は9割参集		職員は7割参集	職員は5割参集
	業務内容に応じた「柔軟な在宅勤務」時差出勤の推奨			7割の通常業務削減と2割のコロナ関連業務増
	妊娠している職員の在宅勤務			
市の主な業務	窓口業務	・各課窓口数の制限等感染拡大に配慮しながら、全ての窓口運営	・窓口は税・福祉及び市民課等の一部に限定(急ぎの用件は対応)	・窓口の原則閉鎖(急ぎの用件のみ対応)
		郵送やオンラインの手続き、予約制等は継続		
	イベント公共施設	・感染拡大に配慮しながら、開催・運営	・市主催のイベントは原則中止 ・市公共施設は原則閉館 ・図書館は予約貸出しのみ	・市主催のイベントは全面中止 ・市公共施設は全て閉館
学校・園 保育所等	・原則、通常運営 ・関係者に感染者等が出た場合は当該学校園は閉鎖		・小中学校、幼稚園及び1号認定こども園は臨時休業	・バンビーホーム、保育所等は最低限の特別保育
			・バンビーホーム、保育所等は特別保育	

モニタリング指標（9月7日(月)修正）

	指 標		フェーズⅡ へ	フェーズⅢ へ	フェーズⅣ へ
			感染拡大 初期	感染拡大期	感染まん延期
重要 指標	不特定多数への 感染拡大リスク	① 市内での新規感染経路 不明者数 <u>（クラスターを除く）</u> （直近1週間の合計）	3人以上	6人以上	12人以上
		② 県内での新規感染経路 不明者数 <u>（クラスターを除く）</u> （直近1週間の合計）	5人以上	10人以上	20人以上
	医療崩壊 のリスク	③ 県内での新規感染者数 （直近1週間の合計）	7人以上	24人以上	48人以上
		④ 県内での重症病床 使用率	25% 以上	50% 以上	70% 以上
参考	⑤ 大阪府での新型コロナ警戒信号		黄	赤	—

フェーズを上げる条件（以下のいずれかに該当した場合に、総合的に判断する）

- ① 及び ② の数値が3日間連続で超える場合
- ③ 及び ④ の //
- 上記以外で⑤などを参考に必要があると判断する場合

本市における感染状況の分析（6月以前と7月以降の比較）

※8月31日現在

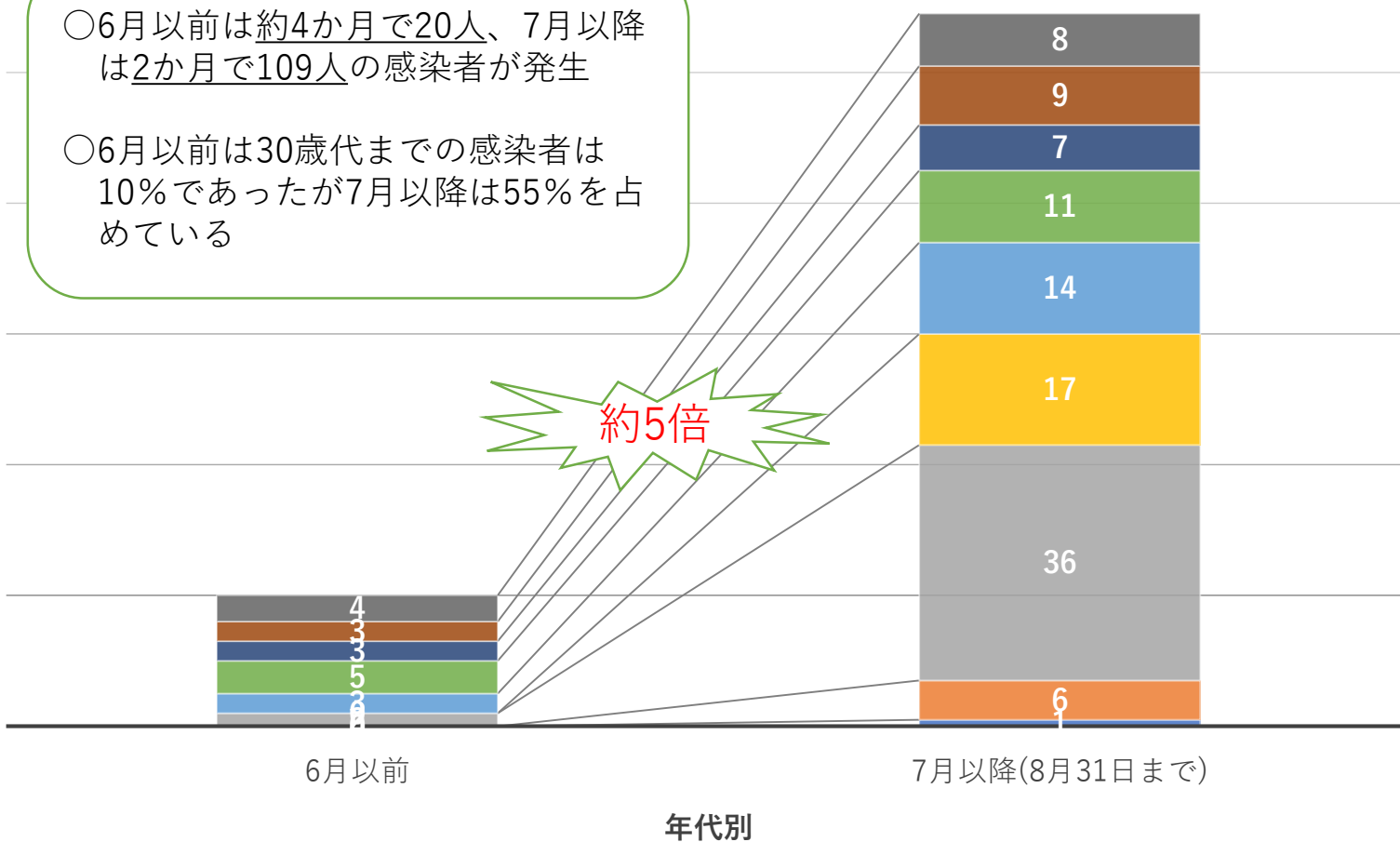
	6月以前（20人感染）		7月以降（109人感染）	
性別	男性	55%(11人)	男性	63%(69人)
	女性	45%(9人)	女性	37%(40人)
年代別	～30代	10%(2人)	～30代	55%(60人)
	40代～60代	55%(11人)	40代～60代	29%(32人)
	70代～	35%(7人)	70代～	16%(17人)
当初の症状	無症状	15%(3人)	無症状	16%(18人)
	軽症	55%(11人)	軽症	79%(86人)
	中等症	25%(5人)	中等症	5%(5人)
	重症	5%(1人)	重症	0%(0人)
感染経路	クルーズ船関係	10%(2人)	院内感染関係	7%(8人)
	大阪由来	45%(9人)	県内事業所関係	11%(12人)
	上記の接触者	10%(2人)	大阪府内飲食等	26%(28人)
	感染経路不明	35%(7人)	家庭内感染	13%(14人)
			感染者と接触	29%(32人)
		感染経路不明	14%(15人)	

年代別染症感染者数

○6月以前は約4か月で20人、7月以降は2か月で109人の感染者が発生

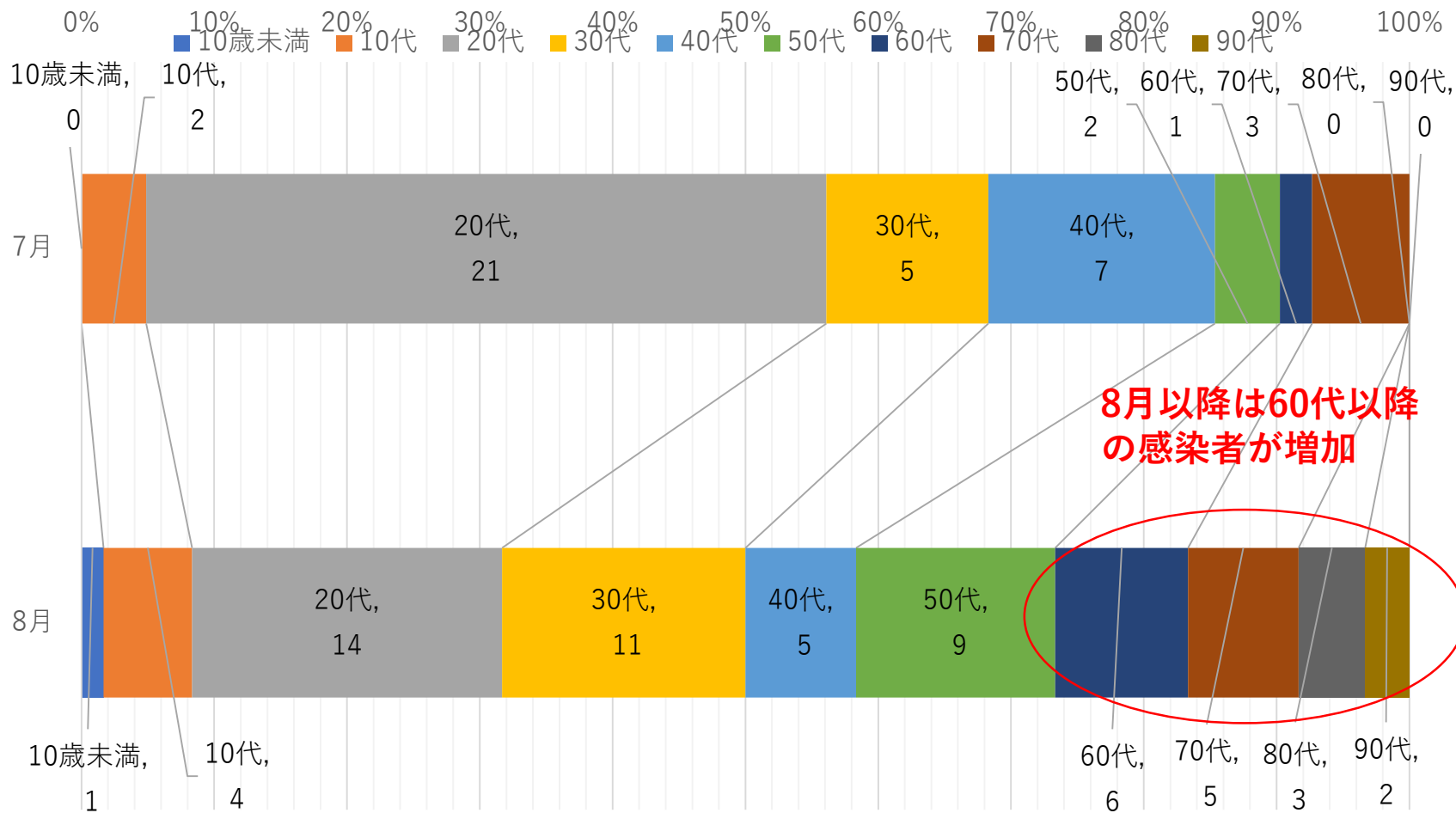
○6月以前は30歳代までの感染者は10%であったが7月以降は55%を占めている

感染者数

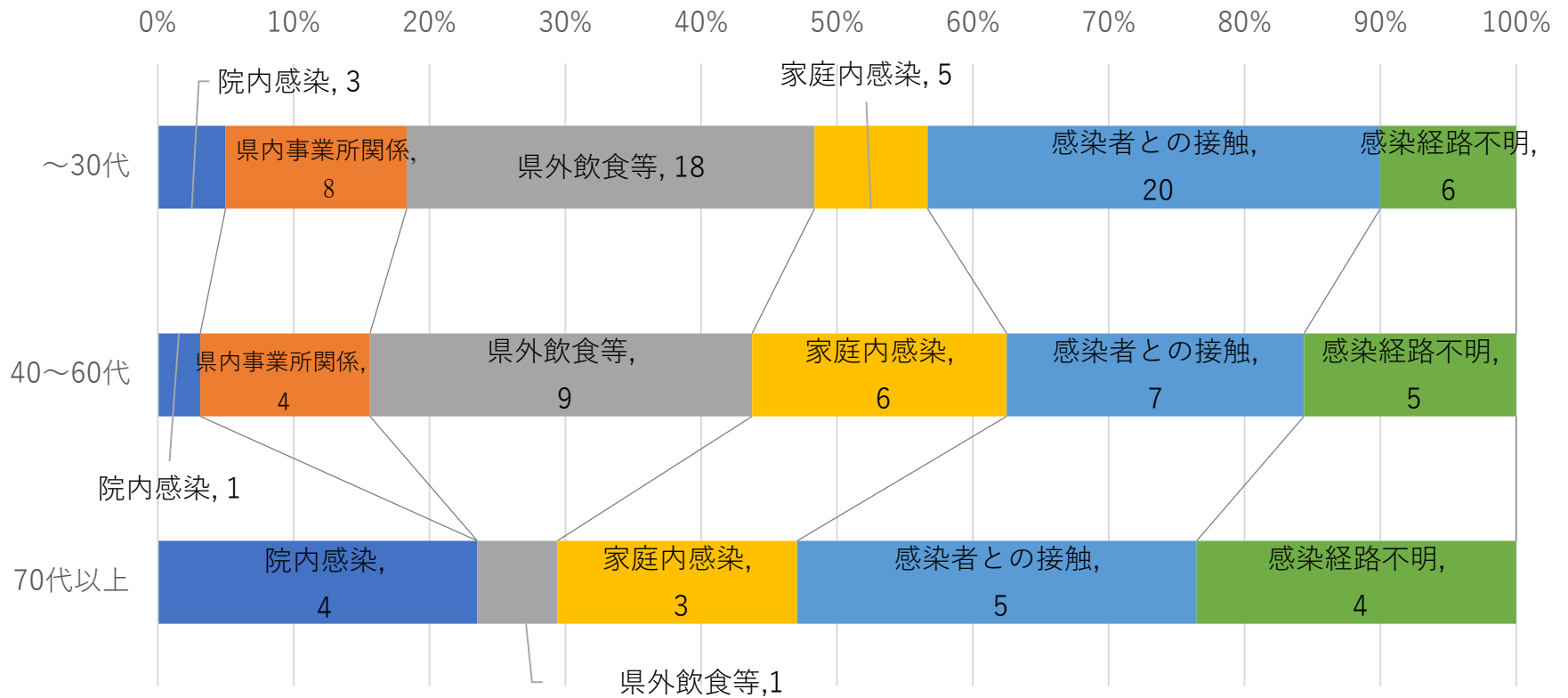


■ 10歳未満 ■ 10代 ■ 20代 ■ 30代 ■ 40代 ■ 50代 ■ 60代 ■ 70代 ■ 80代以上

月別年代別感染者数



年代別感染経路



70代以上は70%が感染者との接触などの2次感染多い

■ 院内感染 ■ 県内事業所関係 ■ 県外飲食等 ■ 家庭内感染 ■ 感染者との接触 ■ 感染経路不明

奈良県内の重症患者の状況

8月31日現在

